あんずの木

令和３年 11 月号　　NO.66

今年の 10 月も、それぞれに行事があったり、進路等少し先の話が本格化したりと、いつもの秋口らしく“こころ忙しない” １か月でした。そしてまだ続きます。新たな出会いや発見があるのもこの時期で、そして子どもがググっと育つ時期でもあります。大人にしてみれば、いろいろと気を遣う場面も多く、向き合いに力をもらったり、消耗したり。こんなときこそ、一服が大事。もう、温かい飲み物がいい日も増えてきましたね。両手でマグカップを包んでため息をつくと、新鮮な空気が身体中に戻ってきます。放デイの保護者の皆さんに、就学前の保護者の皆さん向けて、少し先を歩く先輩からのメッセージをいただきました。小冊子にしてお届けします。そんなときに読んでみてください。HOT な 11 月になると思います。

―11 月・12 月の予定―

11 月　４日（木）ＯＴ（児童）
11 月　５日（金）ＳＴ（児童）
11 月 18 日（木）ドクターＮの医療相談（共通）
11 月 22 日（月）ＯＴ（児童）
12 月 13 日（月）ＳＴ（児童）
12 月 14 日（火）ＯＴ（児童）
12 月 28 日（火）～1 月４日（火）
お正月休み（児童・放デイ共）

＝お知らせ＝

≪ドクターＮの医療相談≫（児童・放デイ・訪問支援共通）

11 月 18 日（木）14：00～16：00（一人 30 分枠）で、
埼玉医科大学総合医療センター小児科の奈倉道明先生による個別の医療相談を行います。
“ドクターの話を聞いてみたい”“診断や検査って？“セカンドオピニオンを聞いてみたい”等
ちょっとした思いで構いません。ご希望、ご関心のある方は声をかけてください。
今回は、４ 枠すべて埋まっていますが、次回は 2/17（木）です。ご希望、ご関心のある方は、はお気軽にお申し出ください。

しばらく感染症対策は継続します！

健康状態への早めの留意　　検温　　換気　　こまめな手洗い・消毒

＊大人は、マスクを着用されている方のみの入場可。子ども達のマスクは、できる子のみで。
＊子ども本人の他、ご家族に体調不良の方がいる場合の利用はお断りしています。
＊ご家族の学校や職場等身近で感染者が出て、自分や家族が濃厚接触者に当たるかどうか不明な場合は、必ず申し出てください。自己判断で利用しないようお願いします。
＊何か不安なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

チョコレートクラスの１０月あれこれ

　10 月、幼稚園や保育園では運動会の季節。心がドキドキ、ザワザワと落ち着かない様子が伺えました。
　チョコレートクラスでは、“ちょっと自分で考える”という経験ができるような活動や声かけをしてきました。“これと同じカードは？”“積み木を同じ形に積む”などの課題に、一生懸命考え、大人の顔を見て「合ってる？」と確認したりしながら、みんな頑張っています。
　フープジャンプでは、一生懸命に考えすぎて、手も足もグーパーになったりと、微笑ましい姿も…。そして、「できた！」の表情は、とっても素敵です。

キャンディクラスの１０月あれこれ

　10 月のキャンディクラスでは、様々なものの仕分けにチャレンジしてみました。色や形、使い方など、よく見て考えて分類することって、意外とむずかしくて、最初はみんな苦戦…。何回もやってくうちに「これはどこかな？」と探したり、「この色は…」と立ち止まって考えたり。「ボールはここ。おはじきはこっち！」と、自信を持ってやり遂げる姿も増えてきました♡
　グッズを替えて、まだまだ取り組んでいきますよ～

放デイのひとり言

　今月のひとり言は、少し視点をかえて、大人がほっこりした気持ちになったお話をふたつ。
　ある日、ある活動の最中、たまたま風船を打とうとした A さんの手（指先）が B さんの眉間に当たってしまいました。楽しく夢中だった故の出来事です。大人が B さんの眉間を冷やしていると、A さんがトコトコとそばに来て、左手で B さんの肩を、右手で頭を撫でて…“ごめんね、だいじょうぶ？”って気持ちを伝えに来てくれました。B さんと大人の姿を見て“あっ”と感じての行動だったのでしょうね。B さん“もうだいじょうぶだよ”と笑顔になりました。
　またある日、あるとき、おやつ前の手洗いの時間。車いすを使用している C さんが水道まで行こうとしたら、D さんが、椅子と机をサッと壁際に動かして、通路を広くしてくれました。大人も“ありがとう”C さんも“パンパン！”と拍手をして気持ちを伝えました。
　２つとも、大人が声をかけて気が付かせたことではなく、自分から“あっ”と気づいて感じて行動したこと・それが何よりもうれしかったです。
　“だいじょうぶ？”“うん、だいじょうぶだよ”
　“元気？”“うん、元気だよ”

　じつは、大人が気が付かないところで、視線を合わせて笑い合って、仕草で優しくやりとりし合っている場面があるんだな、と改めて思ってしまいました。

保育所等訪問支援のある日あるとき

今年度もいろいろ工夫をされながら、運動会が開催される園が多く、その練習風景や、終わったあとのホッとした雰囲気、次の行事へ向かい走り出している場面を、あちこちで見せていただくことが多かった 10 月でした。

保護者の方々から、昨年との違いや成長、また、初めての運動会だった方も、「見ているほうがドキドキしちゃいました」「いつもはいないお客さんに圧倒されちゃったみたいです」と言う方も、この経験がこれからの行事や日々の生活に活きてくると思います。そこに至るまでには、子ども達の力はもちろん、先生方の日頃からの関わり、信頼関係、どうしたら楽しく、みんなと一緒に参加できるのか、と考えてくださっていることが、確かな支えになってきたのだな、と感じています。

子ども達の“次”につなげていくために、訪問支援で一緒に考えていけたらと思っています。

あんず書店

『マルコとパパ　ダウン症のある息子とぼくのスケッチブック』

グスティ 作・絵　　宇野和美 訳　　偕成社 2018

お父さん、お母さん向けの本です。
バルセロナに住んでいるイラストレーターの著者に、ダウン症の男の子マルコが生まれました。本の最初は、父親である著者の苦悩が描かれています。しかし、すぐに父と息子がノリノリに遊ぶ姿や、息子の何気ない仕草や表情をとらえたイラストが続きます。
ポップな絵柄と美しい色彩で描かれる本の中に、
思わず微笑んでしまうエピソードの数々を見て、
子どもの愛らしさは世界共通だなと思います。

（東江）

☆お　礼☆

10 月、放デイを利用している方のお知り合いから、たくさんのオモチャをいただきました。その他の方からも、支援で利用する牛乳パックをたくさん集めていただいたり、ストローと自由画帳をたくさんいただきました。また、あんずサポーターズクラブより、絵本をいただきました。

ご準備していただいたお手間や思いにお応えしたく、
大切に使わせていただきます。本当にありがとうございました。

あれ、昨年も今頃、同じことをつぶやいていました。
少し先のことが決まったら、今日に気持ちを戻しましょう！
進むときは上を向いて。暮らすときは足元を見て。